

第2回計画検討部会資料

令和5年7月4日

資料3

札幌市 障がい福祉計画 (第7期)

札幌市 障がい児福祉計画 (第3期)

成果目標一覧 (案)

札幌市保健福祉局 障がい保健福祉部 障がい福祉課

1 障がい福祉サービス等に関する目標

<p>項目</p>	<p>目標値</p>	<p>目標設定の考え方</p>
<p>成果目標① 入所施設の入所者の地域生活への移行</p>	<p>1 2023年3月31日の施設入所者1,920人のうち、2026年度末において<u>80人(4.2%)</u>以上の方が地域生活に移行することを目指します。</p> <p>2 2026年度末の施設入所者を、2023年3月31日時点の施設入所者数1,920人から<u>113人(約5.9%)</u>以上減少することを目指します。</p>	<p>2019～2021年度の平均増加率から推計</p> <p>2019～2022年度の平均減少率から推計</p>
<p>成果目標③ 地域生活支援の充実</p>	<p>1 2026年度末までの間、地域生活支援拠点等について、年1回以上、支援の実績等を踏まえ運用状況を検証及び検討し、効果的な支援体制の構築を進めます。</p> <p>2 2026年度末までに、強度行動障害を有する者の支援ニーズを把握し、支援体制の整備を進めます。</p>	<p>国の基本指針に準ずる</p>
<p>成果目標④ 福祉施設から一般就労への移行等</p>	<p>1 (ア) 2026年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への移行者数を2021年度の移行実績の<u>1.18倍(722人)</u>とすることを目指します。また、(イ) 就労移行支援事業は<u>1.1倍(427人)</u>、(ウ) 就労継続支援A型は<u>1.03倍(95人)</u>、(エ) 就労継続支援B型は<u>1.5倍(200人)</u>とすることを目指します。</p>	<p>2019～2021年度の年平均就労移行率をサービス利用者数に乗じて推計</p> <p>※ 波線部は2022年度実績(北海道調べ)集計後に更新予定</p>

<p>こうもく 項目</p>	<p>もくひょうち 目標値</p>	<p>もくひょうせってい かんが かつ 目標設定の考え方</p>
<p>せい かもくひょう 成果目標④ ふくししせつ いっぱんしゅうろう 福祉施設から一般就労へ の移行等</p>	<p>1 (オ) 就労移行支援事業所のうち、就労移行支援事業 利用終了者に占める一般就労へ移行した者の割合が5割 以上の事業所を5割以上とすることを目指します。</p>	<p>くに きほんししん じゅん 国の基本指針に準ずる</p>
	<p>2 2026年度末の就労定着支援事業の利用者数について、 2021年度末実績の <u>1.41 倍以上</u> を目指します。</p>	
<p>せい かもくひょう 成果目標⑤ しょう じしえん ていきょう 障がい児支援の提供 たいせい せいびとう 体制の整備等</p>	<p>3 2026年度末までに医療的ケアを必要とする障がいの ある子ども等やその保護者に対する支援体制のさらなる 充実を目指します。</p>	<p>げんこう とりくみ けいぞく 現行の取組を継続</p>
	<p>4 入所している児童が18歳以降、大人にふさわしい 環境へ円滑に移行できるように、必要に応じて、2026 年度末までに移行調整に係る協議の場を設置することを 目指します。</p>	<p>くに きほんししん じゅん 国の基本指針に準ずる</p>
<p>せい かもくひょう 成果目標⑦ しょう ふくし さーびす とう 障がい福祉サービス等の しつ こうじょう 質を向上させるための取 組に係る体制の構築</p>	<p>2026年度末までに、障がい福祉サービス等の質の向上 を図るための取組の実施体制を確保していくほか、事業所 支援の取組を推進します。</p>	<p>げんこう とりくみ けいぞく 現行の取組を継続</p>

2 さっぽろし どくじ せってい もくひょう
 札幌市が独自に設定する目標

こうもく 項目	さっぽろし もくひょうち 札幌市の目標値	さっぽろし もくひょうせってい かんが かつ 札幌市の目標設定の考え方
しょう ひと たい 障がいのある人に対する りかいそくしん さっぽろし どくじ 理解促進（札幌市が独自に せってい もくひょう 設定する目標）	しょう かつ ちいき く 障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであ ると思う しょう かつ わりあい ねんどまつ 障がいのある方の割合が2026年度末において ばーせんと めざ 100 % となることを目指します。	げんこう とりくみ けいぞく 現行の取組を継続
	しょう こ ちいき く 障がいのある子どもにとって地域で暮らしやすいまち であると思う おも ほごしゃ わりあい ねんどまつ 保護者の割合が2026年度末において 100 ばーせんと めざ % となることを目指します。	げんこう とりくみ けいぞく 現行の取組を継続